

令和5年度 事業計画

(2023年6月1日～2024年5月31日)



一般社団法人
千代田区観光協会

目 次

1	地域との連携及び支援事業	29
	(1) 地域関係団体イベントとの連携・支援	
	(2) 地域観光団体等との連携	
2	観光資源磨き上げ創出事業	31
	(1) 観光資源磨き上げ創出事業	
3	観光イベント事業	32
	(1) さくらまつり	
	(2) 納涼の夕べ	
	(3) 東京大回廊写真コンテスト	
4	観光情報発信事業	34
	(1) ウェブサイト運営	
	(2) 外国人向け情報発信	
	(3) ガイドブック制作	
	(4) 観光案内所の運営	
	(5) 東京マラソンEXPO出展	
	(6) 皇居乾通り一般公開への協力	
5	観光人材育成事業	37
	(1) 観光ガイド団体等との連携	
6	観光協会推進事業	38
	(1) 会員交流会の実施等	
	(2) 会員の事業PRの支援	
	(3) 地域ブランドの企画・販売	
	(4) 観光拠点施設運営	
	(5) 観光行事等に関する後援等	
	(6) 社員総会・理事会の開催	
7	管理運営	42
	(1) 事務局人件費	
	(2) 事務局の維持管理	

1 地域との連携及び支援事業

(1) 地域関係団体イベントとの連携・支援(補助・拡充)

□事業概要

千代田区内で行われる各種伝統行事や地域のイベント等を観光資源と捉え、関係団体と連携し、広域的にPRを行うとともに、プレスリリースやニュースレターなどでマスメディアに発信していきます。

□実施時期：通年

□事業内容

(1) 季刊発行のガイドブック

春と秋に発行するガイドブックは、桜や紅葉、話題のスポットやお土産、さんぽコースなど、区内の回遊を促進するようなお出かけ情報を中心に掲載し、区内及び近隣区の観光案内所や会員ホテルのほか、JR東日本、東京メトロ、都営地下鉄の各駅で配布し、幅広く千代田区をPRします。

そのほか、夏と冬にも千代田区をPRするガイドブックを発行します。

(2) 地域イベントのプレスリリース・PR

地域イベントや会員企業・団体の取り組みや観光スポットや観光情報等についてプレスリリース・ニュースレターの作成を行い、新聞、テレビ、雑誌、ウェブサイト等のマスメディアに発信します。

(3) 観光大使リラックマ出演経費

地域を盛り上げるためのイベントなどに、千代田区観光協会観光大使リラックマが出演する経費を一定の条件のもと支援します。

□予算額：24,007千円

[ポイント]

観光大使リラックマの着ぐるみ出演経費を、これまでは主催者が支出していましたが、コロナ禍も落ち着きイベント等も増えてくることを見越し、より活用の幅を広げるため予算化しました。出演には、地域の活性化に寄与することなど一定の基準を設けます。

(2) 地域観光団体等との連携(自主・継続)

事業内容

これまで区内大学・専修学校等と連携し、学生による観光マップや観光PR動画の制作協力や、千代田区の水辺の資産である川を活用する団体が実施する神田川・日本橋川活用事業への支援などにより、区の魅力を発信してきました。

今後、新たな千代田区の魅力をアピールする地域の観光団体等とも連携、協力を進めていきます。

実施時期：通年、各種イベント

予算額：700 千円

2 観光資源磨き上げ創出事業

(1) 観光資源磨き上げ創出事業(補助・新規)

□事業内容

今年1月から放映されている大河ドラマ「どうする家康」(NHK)の主人公徳川家康が拠点とした江戸城は、現在の千代田区皇居にありました。千代田区と深い関わりのある徳川家康をテーマとしたイベントを開催し、家康ゆかりの場所などを紹介し、歴史愛好家、大河ドラマファンだけでなく、多くの方に千代田区を訪れ、区内を回遊してもらうきっかけとします。

□実施予定時期：令和5年10月～11月

□予算額：20,000千円

[ポイント]

イベントの実施に関しては、規模も大きくなるため、区とも十分連携し、事業内容を検討し、運営体制を整え実施します。

3 観光イベント事業

(1) さくらまつり(補助・継続)

□事業概要

東京の桜の名所として国内外に著名な千鳥ヶ淵を中心に「千代田のさくらまつり」を地域の関係団体の協力・連携のもとに千代田区と開催しています。来場者の安全が確保される形態で、実施していきます。

□実施予定時期：令和6年3月下旬～4月上旬の10日間前後

□予算額：113,002千円

(2) 納涼の夕べ(補助・拡充)

□事業概要

昭和33年第1回の開催以来、お濠を活用し千代田区の夏の風物詩となっている「納涼の夕べ」を、区営千鳥ヶ淵ポート場において開催します。近年は観覧者も増え、インバウンドにも人気のイベントとなっており、今年は昨年に引き続き2日間の開催を予定しています。

□実施予定日：令和5年7月26日・27日の2日間（雨天・荒天中止）

□主な内容

ウェブサイトで事前に受け付けたボート乗船者による灯ろう流しを実施するほか、ボートに乗船しない観覧者の方に灯ろうを販売し、メッセージを記入していただいた灯ろうをお濠に流します。

ボート 各日60艘 灯ろう 2,000個（各日1,000個）

□予算額：13,751千円

[ポイント]

2日間の開催となり、参加者及び観覧者が増えたことで、より安全な運営が必要となったため、運営事業者に委託することとしました。事業者については、プロポーザルで決定します。

(3) 東京大回廊写真コンテスト(補助・継続)

□事業概要

千代田区の四季折々の風景や伝統行事、人の営みといった魅力を、様々な人々の視点から、写真を通して発掘してもらい、区の新たな魅力発見に繋げるため、第8回東京大回廊写真コンテストを実施します。

写真コンテストは、グランプリ、準グランプリ、審査員特別賞、千代田区長賞、千代田区民賞、協賛各社賞等の賞を設け表彰をします。

□募集期間：令和5年5月1日～8月31日

□表彰式：令和5年12月中旬（予定）

□応募状況(第7回実績)

1,023点の応募、43点入選

□予算額：3,258千円

[ポイント]

今回の写真コンテストから、インスタグラムで活躍する上田杏子さんを審査員に起用し、インスタグラム利用世代の参加を促します。

4 観光情報発信事業

(1) ウェブサイト運営(補助・拡充)

事業内容

観光客等のニーズに即した情報提供を行うため、季節のイベントや地域の行事等の観光情報や、歴史、文化、グルメ等観光資源などを検索できるデータベース機能を備えるとともに、ウェブサイトのコンテンツの維持管理を行います。特集では、定番の内容に加え、旬な話題なども掲載します。

またSNSでも、イベントや新しい観光スポットなどを随時投稿しています。今年は、より強化するため、ふさわしい人材をSNS広報大使に任命します。

運営時期：通年

予算額：13,889千円

(2) 外国人向け情報発信(補助・継続)

事業内容

新型コロナウイルスの影響でインバウンドは一時的に減少しましたが、渡航が可能になった時、行きたい国として日本が上位に上げられることから、まず東京千代田区に行ってみたいと感じてもらえるよう、更なる千代田区の魅力発信を推進するため、観光協会ウェブサイトの姉妹版として、外国人向けのSNS・ブログの運営や、外国人による外国人向けの観光体験レポートの動画制作などを行っていきます。

制作時期：通年

予算額：10,201千円

(3) ガイドブック制作(補助・拡充)

事業内容

観光客をはじめ案内所、会員ホテル等からも要望の多い総合的な観光ガイドブック（日本語版）、観光マップ（日本語）、ちよだ歴史さんぽマップを一部改訂し発行します。

制作予定時期：6月ごろ

予算額：7,770千円

(4) 観光案内所の運営(補助・継続)

事業内容

千代田区及び周辺地域の観光情報を発信するとともに、来街者の観光相談に対応する観光案内所を運営します。インバウンドの増加に備え、外国語対応できる人材の常駐化を実施しています。案内所では、千代田区を始めとする東京都のほかに、北海道から沖縄まで、日本全国の主な観光地のパンフレットを配架し、さまざまな観光に関するご案内を行っています。

営業日

通年 10時～18時

休館日：第4日曜日（繁忙期は営業）、年末年始

事業規模

受付コーナー、情報閲覧コーナー、荷物一時預かりサービス、スマートフォン充電機の設置、デジタルサイネージの設置等

予算額：15,670千円

(5) 東京マラソンEXPO出展(補助・継続)

事業内容

東京マラソンのゴール地点が東京駅丸の内側であることから、マラソン走者事前受付会場での東京マラソンEXPOに千代田区ブースを出展し、マップやパンフレットを配布するなどして観光情報の発信等を行います。

実施予定時期：東京マラソン走者事前登録日の3日間

予算額：1,000千円



東京マラソンEXPOに出展(東京ビッグサイト)

(6) 皇居乾通り一般公開への協力(補助・継続)

事業内容

宮内庁が主催する皇居乾通り一般公開に際して、来場者の利便性に資するとともに、来場者の区内への回遊に繋げるため、皇居乾門前に観光協会の案内所を設置し、観光ガイド団体の協力を得て観光案内を実施します。

実施予定時期：12月、4月

予算額：1,270千円

5 観光人材育成事業

(1) 観光ガイド団体等との連携(補助・継続)

□事業内容

多くの観光スポットを擁する千代田区において、地域で活動している観光ガイド団体等（江戸東京ガイドの会等）が数多くある中、観光ガイドの人材育成の推進と情報発信のネットワーク化を図るため、令和3年度「千代田区観光ガイド連絡会」を立ち上げました。今年度も引き続き連絡会を開催し、更なる情報共有や連携を強化していきます。

また、「千代田区観光ガイド育成講座」の合格者を含め、連絡会に所属する団体のガイドがよりよいツアーガイドとして活躍するために必要な講座やスキルアップできる講座・研修などを実施していきます。

□実施時期：通年

□予算額：13,930 千円



ガイドツアー実地研修（丸の内）

6 観光協会推進事業

(1) 会員交流会の実施等(自主・継続)

事業内容

会員と協会及び会員相互の更なる連携・交流を図ることを目的として、第5回会員交流会を開催します。

会員相互の情報交換の場としてもご利用いただけるよう企画していくとともに、会員の増加にも努めていきます。

実施予定時期：令和5年度下半期開催

予算額：2,000千円



会員交流会の様子（会場：九段会館テラス）

(2) 会員の事業PRの支援(自主・継続)

事業内容

東京商工会議所千代田支部のご協力を得て、同支部が主催する地域ビジネスフェアに観光協会ブースを確保して、そのブースを会員に提供し、事業PRの支援を行います。

実施予定時期：令和5年11月

予算額：100千円

(3) 地域ブランドの企画・販売(自主・拡充)

□事業内容

千代田区の地域ブランドとして定着させるとともに、観光協会の財源確保の一助とするため、オリジナルグッズの企画・販売等を行います。

会員企業で、神田に本社があるサンエックス株式会社の人気キャラクター「リラックマ」を令和3年8月に観光大使として任命し、ウェブサイトやSNSへの掲載、パネル設置、スタンプラリー、協会オリジナルグッズの制作などに活用していきます。

□実施時期：通年

□オリジナルグッズ

SAKURA BATH、KUROMATSU BATH、桜ストラップ、マジック桜、ポストカード、古地図タオル、リラックマコラボグッズ他

□予算額：6,000 千円

[ポイント]

女性やファミリー層に人気のあるキャラクター「リラックマ」を観光大使に任命しました。今年は家康風のグッズを制作しています。



家康に扮した観光大使リラックマのグッズ

(4) 観光拠点施設運営（自主・継続）

事業内容

万世橋出張所・区民館の5階を区から借り受け、そこに観光事業の拠点となる施設千代田ツーリズムイノベーションベース（CTIB）を新たに設けました。施設の運営者は、一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）で、観光協会だけでなく、地域団体、民間企業等と連携し、スポーツ・文化・ツーリズムの視点から、新たな千代田区の観光事業を創設していきます。

実施時期：通年

予算：7,000 千円

(5) 観光行事等に関する後援等（自主・継続）

事業内容

地域団体、民間団体、民間企業等が主催するイベント、講演会、記念式典等の行事に対し、千代田区観光協会の後援名義・協力名義を付して協力していきます。

実施時期：通年

予算：0 円

(6) 社員総会・理事会の開催(自主・継続)

□事業内容

役員を選任、事業計画、事業報告等、観光協会の重要議案の審議等を行うため、総会及び理事会を開催します。

◎定時社員総会：議案審議（役員を選任、令和4年度事業報告・令和4年度収支決算報告）
報告事項（令和5年度事業計画・令和5年度収支予算）

◎理事会：議案等の審査
令和5年度事業計画及び令和5年度収支予算
平成4年度事業報告・令和4年度収支決算報告の審査
令和5年度事業実施報告(中間報告)等

□開催予定時期

◎定時社員総会：令和5年8月24日
（臨時社員総会は必要に応じて随時開催）

◎定時理事会：年度3回開催予定（7月、12月、4月）
（臨時理事会は必要に応じて随時開催）

□予算額：4,000千円



昨年の総会の様子（会場：シャングリ・ラ東京）

7 管理運営

(1) 事務局人件費(補助・継続)

事業内容

会長の報酬及び専務理事、協会職員7名の給与、社会保険料事業主負担分

予算額：64,282千円

(2) 事務局の維持管理(補助・継続)

事業内容

事務局の維持管理に要する経費

○旅費、通信費、印刷製本費、消耗品費、光熱水費、賃借料

○警備、清掃、消防点検等各種委託経費

○事務機器類リース料

予算額：17,425千円